

2023年2月11日、六ヶ所村総合体育館で、青森県・げんねんジュニアロボットコンテストを開催しました。このコンテストは、青森県の未来を担う小中学生に、ロボット製作を通じて「科学する楽しさ」を体験し、科学に対する興味や物づくりへの関心を深め、創造性豊かに成長していただくことを目的に、1999年度から実施しています。

これまでに24回、延べ約5,100名の小中学生にご参加いただき、歴代の参加者の中には、企業の第一線でロボット製作の仕事に携わり、活躍されている方や、当社の技術者として活躍している方もいます。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、3年ぶりの開催となりましたが、青森県内10市町村、138名の小中学生の皆さまにご参加いただきました。

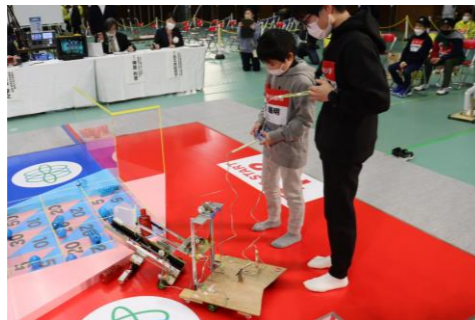
コロナ以降、ロボット製作に限らず、あらゆる活動が制限されてきた中で、青森県内の小中学生が1つの会場に集まり、自作のロボットを披露し合い、お互いに交流する機会を作ることができました。

【白熱した競技の様子】

当日は、138名の選手達が、日々の練習で磨いたロボットの操作技術を最大限発揮し、仲間と力を合わせて最後の1秒まで諦めない白熱した戦いを繰り広げていました。



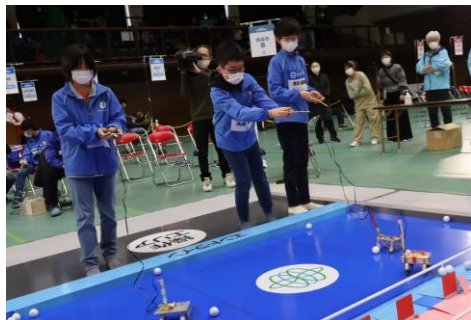
チームメイトの応援を受け、白熱した取組で会場を沸かせたおいらせ町の選手



兄弟ならではの阿吽の呼吸でロボットを操作する五所川原市のチーム



思い思いのデザインを施した自慢のロボットを披露する板柳町のチーム



腕を精一杯伸ばしながらロボットを操作し、敵陣へボールを弾き飛ばす青森市の選手



抜群のチームワークを発揮し、ハイタッチで勝利を喜び合う六ヶ所村のチーム



土俵の真ん中でがっぶり四つを組み手に汗握る取組を見せた弘前市の選手



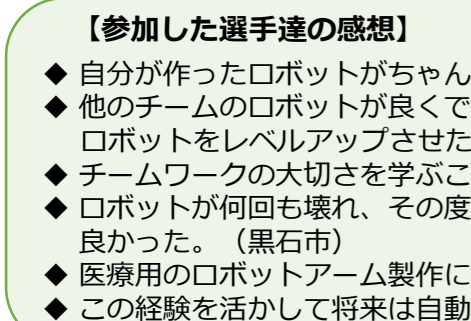
緊迫感あふれる熱戦を制し、喜びを爆発させる三沢市のチーム



精巧に作られたアームを伸ばし、ペットボトルを掴む平川市の選手



驚きのアイデアでペットボトルを一気に運ぶ十和田市のチーム



【参加した選手達の感想】

- ◆自分が作ったロボットがちゃんと動いて嬉しかった。(十和田市)
- ◆他のチームのロボットが良くできていた。来年はもっと工夫してロボットをレベルアップさせたい。(六ヶ所村)
- ◆チームワークの大切さを学ぶことができた。(平川市)
- ◆ロボットが何回も壊れ、その度に作り直したが、諦めずに続けて良かった。(黒石市)
- ◆医療用のロボットアーム製作に携わりたい。(十和田市)
- ◆この経験を活かして将来は自動車の整備士になりたい。(三沢市)



考え抜かれた戦略で初優勝に輝き、喜びの表情を見せてくれた黒石市のチーム

🏆 ロボコン大賞 🏆



くしげたいつせい
榎村 春成さん (三沢市)

【ロボコン大賞への選定理由】

- ・3年をかけて考えた、素晴らしいアイデアを形にしたこと
- ・アイデアをパフォーマンスに活かしたこと
- ・0コマ数秒まで諦めず、勝ち上がったこと

- ・本当に嬉しい
- ・楽しい大会だった
- ・みんなの応援で勝てた！



三沢市少年少女発明クラブ



十和田市少年少女発明クラブ



黒石市少年少女発明クラブ



平川市少年少女発明クラブ

10市町村の少年少女発明クラブ、アイデアクラブの皆さま、ジュニアロボットコンテストへご参加いただき大変ありがとうございました。



六ヶ所村少年少女発明クラブ



青森市少年少女発明クラブ



五所川原市少年少女発明クラブ



おいらせ町少年少女アイデアクラブ



板柳町少年少女発明クラブ



弘前市少年少女発明クラブ

当社は今後も様々なイベントを通じて、青森県の未来を担う小中学生が創造性豊かに大きく成長していただくことを応援してまいります。